

# 2017年度 検索技術者検定

## 2級 試験問題(後半)

### 注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
3. 解答時間は、15：15～16：15の60分間です。
4. 中途退席はできません。
5. 問題は1問8題、全4ページ、解答用紙は3ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。  
(解答用紙裏面への記入は無効です。)
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。  
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

問12 以下の8題（【1】～【8】）から2題を選択し、問題文にしたがって解答しなさい。解答は1題につき解答用紙1ページを使用し、選択した問題の番号を解答欄に記入しなさい。

【1】 「印刷技術や紙の歴史と図書館との関わりについて」のテーマで卒論を執筆したい。ついては、資料の探し方を教えてほしい、との依頼を受けた。

依頼者は、下記の状況である。

- ① 依頼者は予備調査をまだ十分行っていない。
- ② 依頼者は英語は堪能である。

以下の設問に答えなさい。

(1) 上記のテーマについての文献（英文）を探するためのデータベースとして最も適切なものを1つあげなさい。

(2) 上記のテーマについての文献（和文）を探するための検索ツールとして適切なものを3つあげなさい。ただしその内1つは一般誌を対象としたものとする。

(3) 上記のテーマについて、図書の本文やあらすじ、目次などから検索できるツールとして適切なものを和書・洋書各1つあげ、簡単に特徴を説明しなさい。（具体名を記載）  
ただし、調査担当者の所属機関資料のみを対象としたツール（社内専用データベース、OPAC など）は除くものとする。

- (a) 和書の場合
- (b) 洋書の場合

(4) (3) の (b) で探し当てた洋書を、北米のどの大学図書館が所蔵しているかを調べるための検索ツールを1つあげなさい。

(5) レフェラルサービスの一環として、他の博物館を紹介する際に、適していると考えられる博物館を1カ所あげなさい。

【2】 依頼者より、「山田興産」という会社の財務情報を知りたいという問い合わせがあった。  
このような依頼を受けたときの対応として以下の設問に答えなさい。

(1) 対象企業を特定するための質問事項を5つあげなさい。

(2) この企業が特定できた場合、財務情報を取得するための情報源を5つあげなさい。

【3】 特許公報の発行期間を2017年6月1日から2017年6月30日までと指定をして、  
2017年7月1日に検索を実行した。

半年後、再度検索を実行したところ、先の検索ではヒットしていなかった特許公報がヒットした。  
考えられる理由を2つあげ、それぞれ説明しなさい。

指定した特許公報の発行期間及び検索式は完全に同じものとする。また、検索に使用したデータ  
ベースも同一であるものとする。

【4】 ある製品を販売するために、まず日本国内でクリアランス調査を行った。内容確認は要約と  
第1クレームを用いて行った。

さらに海外について、DWPIで検索し、DWPIファミリーのBASIC特許のDWPIタイトルと第1ク  
レームを読んでクリアランス調査を行い、抵触特許はないと結論づけた。

国内外で製品を販売していたところ、ある企業から警告状が届いた。内容を精査してみると、  
当社販売品は警告状記載の登録特許の権利範囲に入っていることが判明した。

この調査方法の問題点を2点指摘し、それぞれの対策について簡潔に述べなさい。

【5】 以下の文章を読み、設問に答えなさい。

1, 4-ブタンジオールとテレフタル酸から縮重合して得られるポリエステル（一般名：PBT）がある。このポリエステルを検索するために、CAS 登録番号 26064-94-2 を用いた。さらに、前記検索結果を用いて、このポリエステルが、何年ごろ特許や論文に頻出していたかを、STN で集計しようとした。

発表年ごとに論文数や特許数を集計してみたが、集計結果（件数、年）は予想よりも全体的に少なかった。

- (1) 集計結果が予想と異なった原因とそれに対する対処法について、検索の観点から簡潔に述べなさい。
- (2) STN 上で年ごとに集計する方法について、簡潔に述べなさい。

【6】 日本で未承認の医薬品「X」は、アメリカではすでに承認されている。この「X」について、以下のような情報調査を依頼された。以下の設問について答えなさい。

- (1) アメリカでの用量・用法の情報を調べたい。調査に用いるデータベースを1つ、公的な情報源を1つあげなさい。
- (2) 日本国内での開発状況を調べたい。調査のための有料の検索ツールを1つあげなさい。
- (3) PubMed で文献を調べたい。PubMed で調査する場合の利点と課題を1つずつあげなさい。
- (4) 副作用に関する文献を網羅的に調べたい。検索の留意点を2つあげなさい。

【7】 ある統計指標を過去 20 年分遡及するに際しての留意点を 3 つあげ、それぞれの対応策を説明しなさい。

【8】 エンドユーザ検索ツールの出現・普及とインフォプロの役割について、以下の設問に答えなさい。

- (1) エンドユーザ検索ツールとは何か、具体的なツール名と共に説明しなさい。
- (2) エンドユーザ検索ツールの浸透によって、インフォプロの役割はどのように変化してきたか、5 点あげなさい。